第58期
中間報告書

平成18年10月１日～平成19年３月31日

株式会社トーカン

証券コード：7648

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに第58期中間期（平成18年10月1日から平成19年3月31日まで）の中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申しあげます。

当中間期における我が国経済は、輸出と設備投資に牽引された景気回復が戦後最長となるまで持続したものの、旺盛な個人消費の回復までには至らず、業界再編や競争環境の激化と相俟って食品流通業界は依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の下、「流通ソリューションの進展」をスローガンに「商品力の強化　－開発・育成・提案－」「ロジスティクス経営の基盤づくり　－カイゼン・可視化・マネジメント－」「ＣＳＲを通じた経営品質の向上」「人材の強化」を基本方針として、企業体質の強化に努めてまいりました。

営業面では、平成18年11月八尾共配センター（大阪府八尾市）を新設、平成19年3月浜松共配センター（静岡県浜松市）を移転・新設し、コンビニエンスストア向け日配物流拠点を強化しました。また、更なる中間流通機能の拡充を図るため物流改革プロジェクトや情報化戦略プロジェクトなど全社規模での取組みを行う一方で、業務改善活動であるＴＬＳ－Ｋ（トーカン・ロジスティクス・システム－カイゼン）を進め、物流センターのみならず惣菜工場にも横展開を図ってまいりました。

管理面では、平成18年10月よりコンプライアンスホットライン（内部通報制度）を導入し、行動規範や情報セキュリティのキャンペーンを実施し社内への浸透を図ってまいりました。また、内部統制制度の法制化に向けた準備や「ISO14001」に基づく環境マネジメント活動を推進してまいりました。

また、連結子会社の王将椎茸株式会社においては、「ISO9001」認証取得に向けて品質マネジメントの強化を図っております。

このような結果、連結ベースでの営業成績は売上高782億86百万円（前期比102.3％）、経常利益は7億72百万円（同112.2％）、中間純利益は4億16百万円（同106.9％）となりました。

今後の見通しにつきましては、景気は国内民間需要に支えられて回復が続くものと見込まれますが、一方で内外経済に影響を与える要因も懸念され、先行きは予断を許さない状況で推移するものと思われます。食品流通業界におきましては、更に競争激化が進み、総合商社・大手小売業が主導する業界再編が加速することが予想されます。

このような状況の中で、中期経営計画「New STAGE 21」を達成するため、全社及び営業部門内に各種プロジェクトを設置し、目標完遂に向けてグループ一丸となって取組んでまいります。中期ビジョンに掲げる「ソリューションカンパニーへの飛躍」を早期に実現するべく、情報機能の活用とマーチャンダイジング、ロジスティクス、リテールサポートの高度化により、得意先に対するソリューション活動を進めることで経営品質と企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様方におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成19年6月

代表取締役
執行役員社長　菊子　健二

中間連結貸借対照表

（単位：千円）

科目＼期別	当中間期（平成19年3月31日現在）	前中間期（平成18年3月31日現在）	前期（平成18年9月30日現在）
資産の部			
流動資産	**33,213,528**	**26,689,978**	**36,049,258**
現金及び預金	1,283,333	3,227,597	11,089,891
受取手形及び売掛金	15,626,767	15,252,036	15,666,889
たな卸資産	3,618,357	3,551,228	3,762,679
短期貸付金	7,299,861	—	—
未収入金	5,014,797	4,335,611	5,128,142
その他	461,121	448,955	499,540
貸倒引当金	△ 90,709	△ 125,451	△ 97,884
固定資産	**19,076,606**	**18,985,513**	**18,691,069**
有形固定資産	**10,957,953**	**12,732,087**	**12,400,989**
建物及び構築物	5,991,582	6,514,972	6,298,683
土地	3,827,768	4,936,291	4,906,285
その他	1,138,602	1,280,823	1,196,020
無形固定資産	**184,089**	**189,109**	**181,000**
投資その他の資産	**7,934,563**	**6,064,316**	**6,109,079**
投資有価証券	3,951,820	3,811,223	3,760,464
前払年金費用	299,473	281,006	295,685
その他	3,685,178	2,484,202	2,055,064
貸倒引当金	△ 1,910	△ 512,115	△ 2,135
資産合計	**52,290,135**	**45,675,491**	**54,740,327**

（注）記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

◇有形固定資産・投資その他の資産

前期まで、有形固定資産に含めて表示しておりました賃貸用不動産は、当中間期より投資その他の資産の「その他」に含めて表示しております。

なお、当中間期の賃貸用不動産は1,595,148千円、前中間期は1,620,434千円、前期末は1,611,797千円であります。

（単位：千円）

科目＼期別	当中間期（平成19年3月31日現在）	前中間期（平成18年3月31日現在）	前期（平成18年9月30日現在）
負債の部			
流動負債	**35,828,311**	**29,299,872**	**37,912,886**
支払手形及び買掛金	29,092,177	23,346,492	31,555,619
短期借入金	2,050,000	2,550,000	2,350,000
一年内返済予定長期借入金	808,550	300,000	200,000
未払金	2,863,822	2,093,713	2,475,228
未払法人税等	312,903	243,107	371,152
賞与引当金	388,373	388,690	431,265
役員賞与引当金	11,590	10,000	22,000
その他	300,895	367,868	507,620
固定負債	**2,099,428**	**2,637,253**	**2,751,822**
長期借入金	1,249,700	1,800,000	1,900,000
退職給付引当金	23,450	31,515	34,963
役員退職慰労引当金	186,683	169,906	181,995
連結調整勘定	—	60	—
その他	639,594	635,771	634,864
負債合計	**37,927,739**	**31,937,126**	**40,664,709**
資本の部			
資本金	—	**1,243,300**	—
資本剰余金	—	**1,132,800**	—
利益剰余金	—	**10,874,543**	—
その他有価証券評価差額金	—	**816,214**	—
自己株式	—	**△ 328,492**	—
資本合計	—	**13,738,365**	—
負債、少数株主持分及び資本合計	—	**45,675,491**	—
純資産の部			
株主資本	**13,701,533**	—	**13,392,675**
資本金	1,243,300	—	1,243,300
資本剰余金	1,132,800	—	1,132,800
利益剰余金	11,693,634	—	11,345,068
自己株式	△368,201	—	△328,492
評価・換算差額等	**660,861**	—	**682,942**
その他有価証券評価差額金	660,795	—	682,942
繰延ヘッジ損益	66	—	—
純資産合計	**14,362,395**	—	**14,075,618**
負債純資産合計	**52,290,135**	—	**54,740,327**

中間連結損益計算書

（単位：千円）

科目＼期別	当中間期（平成18年10月1日から平成19年3月31日まで）	前中間期（平成17年10月1日から平成18年3月31日まで）	前期（平成17年10月1日から平成18年9月30日まで）
売上高	**78,286,395**	**76,539,143**	**155,067,002**
売上原価	**70,310,497**	**68,759,219**	**139,240,263**
売上総利益	**7,975,898**	**7,779,923**	**15,826,739**
販売費及び一般管理費	**7,350,434**	**7,267,905**	**14,664,520**
営業利益	**625,463**	**512,018**	**1,162,218**
営業外収益	**219,634**	**193,892**	**420,438**
受取利息	29,510	20,072	40,278
受取配当金	16,831	15,545	39,494
不動産賃貸収入	72,180	—	—
受取地代家賃	—	77,646	170,182
その他	101,112	80,627	170,483
営業外費用	**72,698**	**17,452**	**42,860**
支払利息	20,950	15,802	36,995
不動産賃貸費用	51,270	—	—
その他	477	1,649	5,865
経常利益	**772,399**	**688,458**	**1,539,796**
特別利益	**34,227**	**112,105**	**216,399**
固定資産売却益	11	109,402	153,519
投資有価証券売却益	3,452	6	6
過年度消費税等	23,363	—	—
貸倒引当金戻入益	7,399	2,696	62,768
その他	—	—	105
特別損失	**54,442**	**125,948**	**133,921**
固定資産除売却損	47,026	122,464	124,268
店舗閉鎖費用	6,566	—	—
その他	850	3,483	9,652
税金等調整前中間（当期）純利益	**752,184**	**674,615**	**1,622,275**
法人税、住民税及び事業税	**282,355**	**227,888**	**546,026**
法人税等調整額	**53,108**	**56,771**	**161,244**
中間（当期）純利益	**416,720**	**389,955**	**915,003**

（注）記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

◇売上高
前期後半からの大手外食チェーンに対する取扱商材の拡大や前期の新規取引企業の貢献などにより前中間期比102.3％の増収となりました。

◇経常利益
売上及び共同配送の取扱高増加に伴い物流効率が向上したことにより前中間期比112.2％の増益となりました。

◇会計処理の変更
従来、賃貸用不動産に係る賃貸収入は営業外収益の「受取地代家賃」に含め、それに係る費用は営業の用に供している不動産に係る費用に含めて販売費及び一般管理費に計上しておりましたが、当中間期から、それぞれ営業外収益の「不動産賃貸収入」と営業外費用の「不動産賃貸費用」として処理することに変更しております。
この結果、従来の方法に比較して、販売費及び一般管理費は51,270千円減少し、営業利益が同額増加しておりますが、経常利益及び税金等調整前中間純利益に与える影響はありません。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

科目＼期別	当中間期（平成18年10月1日から平成19年3月31日まで）	前中間期（平成17年10月1日から平成18年3月31日まで）	前期（平成17年10月1日から平成18年9月30日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー	**△ 1,498,092**	**△ 270,015**	**8,129,824**
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△ 558,994**	**△ 422,769**	**△ 705,819**
財務活動によるキャッシュ・フロー	**△ 449,608**	**△ 454,469**	**△ 708,966**
現金及び現金同等物の増減額	**△ 2,506,696**	**△ 1,147,254**	**6,715,039**
現金及び現金同等物の期首残高	**11,087,890**	**4,372,851**	**4,372,851**
現金及び現金同等物の中間期末（期末）残高	**8,581,194**	**3,225,597**	**11,087,890**

（注）記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

中間連結株主資本等変動計算書

（単位：千円）

当中間期（平成18年10月1日から平成19年3月31日まで）	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年9月30日残高	**1,243,300**	**1,132,800**	**11,345,068**	**△ 328,492**	**13,392,675**
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当			△ 68,154		△ 68,154
中間純利益			416,720		416,720
自己株式の取得				△ 39,709	△ 39,709
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額（純額）					
中間連結会計期間中の変動額合計	**—**	**—**	**348,566**	**△ 39,709**	**308,857**
平成19年3月31日残高	**1,243,300**	**1,132,800**	**11,693,634**	**△ 368,201**	**13,701,533**

当中間期（平成18年10月1日から平成19年3月31日まで）	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
平成18年9月30日残高	**682,942**	**—**	**682,942**	**14,075,618**
中間連結会計期間中の変動額				
剰余金の配当				△ 68,154
中間純利益				416,720
自己株式の取得				△ 39,709
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額（純額）	△ 22,147	66	△ 22,080	△ 22,080
中間連結会計期間中の変動額合計	**△ 22,147**	**66**	**△ 22,080**	**286,776**
平成19年3月31日残高	**660,795**	**66**	**660,861**	**14,362,395**

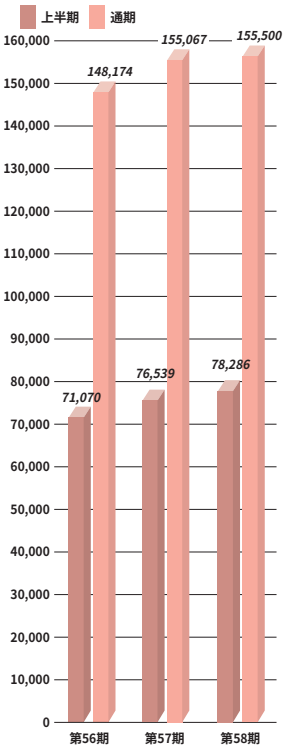
（注）記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

企業集団の業績及び財産の状況の推移

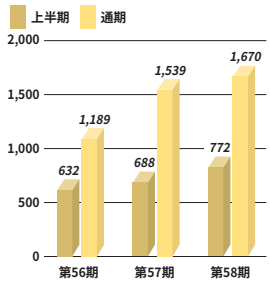
（単位：百万円）

項目＼期別	第56期中間期（平成17年3月期）	第57期中間期（平成18年3月期）	第58期中間期（平成19年3月期）	前事業年度（平成18年9月期）
売上高	71,070	76,539	78,286	155,067
経常利益	632	688	772	1,539
中間(当期)純利益	470	389	416	915
1株当たり中間(当期)純利益	69円10銭	57円22銭	61円21銭	134円26銭
総資産	40,841	45,675	52,290	54,740
純資産	13,169	13,738	14,362	14,075

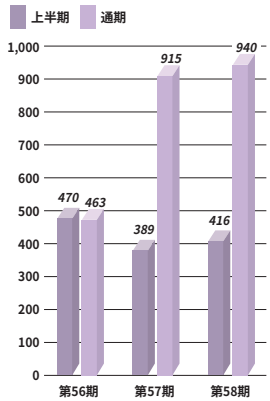
売上高　（単位:百万円）



経常利益　（単位:百万円）



当期純利益　（単位:百万円）



（注）第58期通期は、見通しであります。

単体財務諸表の概要

中間貸借対照表

（単位：千円）

科目＼期別	当中間期（平成19年3月31日現在）	前中間期（平成18年3月31日現在）	前期（平成18年9月30日現在）
資産の部			
流動資産	33,222,969	26,715,628	36,024,318
固定資産	18,703,334	18,637,832	18,323,822
資産合計	**51,926,304**	**45,353,461**	**54,348,140**
負債の部			
流動負債	35,793,717	29,256,044	37,826,280
固定負債	2,053,594	2,582,271	2,692,164
負債合計	**37,847,312**	**31,838,315**	**40,518,444**
資本の部			
資本金	—	1,243,300	—
資本剰余金	—	1,132,800	—
利益剰余金	—	10,651,324	—
その他有価証券評価差額金	—	816,214	—
自己株式	—	△ 328,492	—
資本合計	—	**13,515,145**	—
負債・資本合計	—	**45,353,461**	—
純資産の部			
株主資本	13,418,130	—	13,146,753
資本金	1,243,300	—	1,243,300
資本剰余金	1,132,800	—	1,132,800
利益剰余金	11,410,231	—	11,099,146
自己株式	△ 368,201	—	△ 328,492
評価・換算差額等	660,861	—	682,942
その他有価証券評価差額金	660,795	—	682,942
繰延ヘッジ損益	66	—	—
純資産合計	**14,078,991**	—	**13,829,696**
負債純資産合計	**51,926,304**	—	**54,348,140**

（注）記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

中間損益計算書

（単位：千円）

科目＼期別	当中間期（平成18年10月1日から平成19年3月31日まで）	前中間期（平成17年10月1日から平成18年3月31日まで）	前期（平成17年10月1日から平成18年9月30日まで）
売上高	**78,011,703**	**76,234,048**	**154,490,441**
売上原価	**70,150,637**	**68,563,462**	**138,844,499**
売上総利益	**7,861,065**	**7,670,586**	**15,645,942**
販売費及び一般管理費	7,300,266	7,191,946	14,547,173
営業利益	**560,799**	**478,639**	**1,098,769**
営業外収益	227,838	197,321	427,131
営業外費用	72,698	17,452	41,240
経常利益	**715,939**	**658,509**	**1,484,661**
特別利益	33,532	111,995	216,324
特別損失	54,430	125,455	157,385
税引前中間(当期)純利益	**695,042**	**645,049**	**1,543,600**
法人税、住民税及び事業税	264,772	216,088	525,868
法人税等調整額	51,030	54,503	140,930
中間(当期)純利益	**379,239**	**374,456**	**876,801**
前期繰越利益	—	128,683	—
中間未処分利益	—	**503,140**	—

（注）記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

トピックス

■主力得意先向け日配物流拠点強化

当上半期では、取引エリアの拡大と物流の効率化を目的に日配物流拠点を整備してまいりました。平成18年11月には、八尾共配センターを稼動、また平成19年3月には、浜松共配センターを移転・新設しました。日々改善を実施し、ローコスト・オペレーションの徹底とサービスレベルの向上を図り、安定稼動を進めていきます。

【浜松共配センター概要】
所在地　静岡県浜松市東区北島町
敷地面積　4,980m²
延床面積　2,690m²
取扱店舗　300店

【八尾共配センター概要】
所在地　大阪府八尾市老原
延床面積　1,048m²（賃借）
取扱店舗　170店

浜松共配センター外観

■自社ブランドの商品開発

当社王将営業部のブランドである『王将の杜』に“麺の華”と『味風情』に“漁師のお茶漬け めかぶと海苔”が加わりました。

王将の杜「麺の華」

味風情
「漁師のお茶漬け めかぶと海苔」

“麺の華”は、たまねぎを練り込んだ風味豊かなあげ玉に彩りよく、えび天ときざみねぎをブレンドしました。麺の華で、素うどん、かけそばが簡単にひと味、引き立ちます。また、お好み焼き、焼きそばにも利用でき、本品を加えるだけで、豊かな味わいを楽しんでいただけます。

“漁師のお茶漬け　めかぶと海苔”は、フコイダンを多く含むめかぶと、風味豊かな海苔にきざみねぎ、あられを加えたお茶漬けです。

本品主原料のめかぶは、すぐにやわらかくなり、とろみが充分に出るように、ノンボイル製法によって仕上げてあります。ご家族で、磯の風味豊かなお茶漬けをご賞味ください。

取締役・監査役及び執行役員（平成19年３月31日現在）

代表取締役会長	永津邦彦	常勤監査役	岩味正之
代表取締役 執行役員社長	菊子健二	常勤監査役	竹下晴夫
取締役 執行役員副社長	伊藤忠好	監査役	中野克己
取締役 専務執行役員	鈴木道宏	監査役	西川尚典
取締役 常務執行役員	倉田武雄	執行役員	佐々木昭次
取締役 常務執行役員	神谷　亨	執行役員	野村浩司
取締役 執行役員	西濱勇治	執行役員	志津基己
取締役 執行役員	澤田育士	執行役員	牧内孝文
取締役 執行役員	門坂　功	執行役員	東　哲夫

株式の状況（平成19年３月31日現在）

1. 発行可能株式総数　25,800,000株
2. 発行済株式総数　7,050,000株
3. 株主数　426名
4. 大株主（上位９名）

株主名	当社への出資状況		当社の当該株主への出資状況	
	持株数	議決権比率	持株数	出資比率
	千株	%	千株	%
永津邦彦	663	9.76	—	—
永津眞紀子	545	8.03	—	—
トーカン社員持株会	480	7.07	—	—
株式会社三菱東京ＵＦＪ銀行	340	5.00	—	—
株式会社りそな銀行	160	2.35	—	—
株式会社大垣共立銀行	160	2.35	11	0.00
日本生命保険相互会社	150	2.21	—	—
三菱商事株式会社	150	2.21	—	—
第一生命保険相互会社	150	2.21	—	—

株 主 メ モ

事業年度	10月１日から翌年９月30日まで
定時株主総会	12月
定時株主総会の基準日	９月30日
期末配当の基準日	９月30日
中間配当の基準日	３月31日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番１号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号（〒460-8685） 中央三井信託銀行株式会社名古屋支店証券代行部 電話／0120－78－2031（フリーダイヤル）
同取次所	中央三井信託銀行株式会社本店及び全国各支店 日本証券代行株式会社本店及び全国各支店 （お知らせ） 住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120－87－2031で24時間受付しております。
上場証券取引所	名古屋証券取引所市場第二部
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告ができないときは、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載アドレス http://www.tokan-g.co.jp/3_top.html

株券失効制度についてのお知らせ

株券を喪失した場合は「株券失効制度」により株券の再発行を受けることとなります。お手続きの詳細につきましては株主名簿管理人あてご照会ください。

株主ご優待

毎年９月30日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された1,000株以上ご所有の株主様に対し、一律小売価格3,000円相当、毎年３月31日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された1,000株以上ご所有の株主様に対し、一律小売価格2,000円相当の当社・グループ会社製品をお送りいたします。

会社概要（平成19年３月31日現在）

社名	株式会社トーカン
設立	昭和24年10月
資本金	12億4,330万円
代表者	代表取締役 執行役員社長　菊子健二
従業員数	461名
事業内容	食品卸売業
事業所	愛知県19　岐阜県１　三重県４　静岡県３ 滋賀県１　長野県１　大阪府２　京都府１

子会社

株式会社トーシンエクスプレス
太平洋海苔株式会社　王将椎茸株式会社

関連会社

株式会社豊橋トーエー　株式会社東海酒販

ホームページ　http://www.tokan-g.co.jp/